

会 議 結 果 報 告 書

- | | | | | | | |
|---|-------|---------------------|----|---|---|----|
| 1 | 定例会 | | | | | |
| 2 | 開会日時 | 令和5年7月25日（火）午後1時24分 | | | | |
| 3 | 閉会日時 | 令和5年7月25日（火）午後1時44分 | | | | |
| 4 | 出席者 | 教育長
教育委員 4人 計5人 | | | | |
| 5 | 議決件数 | 0件 | | | | |
| 6 | 議決の状況 | 原案可決 | 0件 | 承 | 認 | 0件 |
| | | 一部修正可決 | 0件 | 同 | 意 | 0件 |
| | | 継続審議 | 0件 | | | |
| 7 | 議事録 | 別添のとおり | | | | |

教育委員会定例会議事録

1 会議年月日 令和5年7月25日（火）

2 招集の場所 くすのきプラザ 2F 研修室

3 出席者

教育長	新田 憲章	
委員	上之園 公子	
委員	神原 謙治	
委員	松本 真奈美	
委員	玉井 節夫	計 5人

4 議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

【会議等】

【学校教育関係】

・府中町生徒指導上の諸課題の状況について

【社会教育関係】

・6月30日（金）文化財保護審議会について

・7月6日（木）史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画検討委員会について

5 職務のため会議に出席した者

教育部長	榎並 隆浩	教育総務課長	藤永 政己
学校教育課長	立花 淑子	社会教育課長	竹林 邦彦
社会教育課主幹	小路 和司	教育総務課課長補佐兼総務係長	谷口 司

6 議事の内容

（開会 午後1時24分）

教育長

それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、ただいまから、定例、教育委員会会議を開催します。本日の議事日程は、お手元に配布しているとおりでございますが、よろしいですか。

（異議なし）

教育長

ご異議ないようでございますので、そのようにいたします。それでは日程第1、議事録署名委員の指名を行います。府中町教育委員会会議規則第18条第3項の規定により、私と玉井委員を指名することとしますが、よろしいですか。

（異議なし）

教育長

教育長報告 3 件です。会議等については、ありません。学校教育関係 1 件です。府中町生徒指導上の諸課題の状況について、学校教育課長が詳細報告します。

学校教育課長

学校教育課長です。「府中町生徒指導上の諸課題の状況について」説明します。資料「府中町生徒指導上の諸課題の状況」をご覧ください。まず、暴力行為の発生件数です。右側の令和 5 年 6 月現在の欄を見ますと、小学校で 14 件、中学校は 6 件です。昨年度の 6 月と比べ、小学校は 2 件から 14 件に増加し、中学校も 1 件から 6 件に増加しています。小学校では、他児童の傘を振り回し折って壊した器物破損、離席や大声で授業妨害をする児童を注意した担任教師に対して胸をたたき足を踏むなどの対教師暴力といった事案がありました。また、中学校では、悪口を言われていると勘違いし友達の頭や背中をたたきなどの生徒間暴力といった事案がありました。次に、いじめの認知件数です。令和 5 年 6 月現在、小学校で 3 件、中学校で 6 件です。昨年度の 6 月と比べ、小学校は 1 件増、中学校は 2 倍で 3 件増加しています。小学校では、口癖を真似されたり、複数人で故意にぶつかられたりして嫌がらせを受けている事案がありました。中学校では、自転車をごみ集積場に持っていかれ、自転車の鍵をごみ捨て場に投げられ、その様子をスマホで撮影されたという事案がありました。次に 特別な指導の件数です。令和 5 年 6 月現在、小学校で 72 件、中学校で 26 件です。昨年度の 6 月と比べ、小学校では 3 倍、中学校では約 1.5 倍に増加しています。小学校では、クラスの外に出て落ち着かない児童に対する指導がありました。また、中学校では、所持品、風紀についての指導が 6 件あり、部活動帰りに公園でスマホを使って写真を撮る、眉毛をいじるなど校則違反に対する指導がありました。なお、特別な指導が必要となる暴力行為やいじめについては、学校からの一報を受ける際に、正確な事実確認を行うよう指導しております。学校においては、問題行動に対する指導とともに、その行動に至った背景を分析しながら、事案に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を図っています。次に 不登校人数についてです。令和 5 年 6 月現在、小学校で 19 人、中学校で 24 人です。昨年度の 6 月と比べ、小中学校とも約 1.5 倍に増加しています。多様な学び場を提供するために、家庭と連携を図り、端末を活用したり、本人が適応指導教室たんぼの部屋やスクール S 等の外の機関とつながるような働きかけも行っております。最後に 不登校児童生徒の割合についてです。令和 5 年 6 月現在、小学校は 0.59 で、中学校は 2.01 となっています。昨年度の 6 月と比べ、小学校で 0.14 ポイント増加し、中学校で 0.74 ポイント増加しています。学校が子供にとって魅力ある場となるよう、個に応じた指導の充実、また子供や保護者が悩みや不安を気軽に相談できる教育相談体制の充実などに引き続き、取り組んでいきたいと考えております。説明は以上です。

教育長

社会教育関係 2 件です。1 件目は、6 月 30 日金曜日に開催しました文化財保護審議会。2 件目は、7 月 6 日木曜日に開催しました史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画検討委員会についてです。2 件合わせて、社会教育課主幹兼歴史民俗資料館長が詳細報告します。

社会教育課主幹

社会教育課主幹です。府中町文化財保護審議会と史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画検討委員会について合わせて報告します。まず初めに、府中町文化財保護審議会ですが、令和 5 年 6 月 30 日金曜日に開催いたしました。審議会では、(1) 会長、副会長の選任について、(2) 令和 4 年度文化財関連事業について、(3) 令和 5 年度文化財関連事業について (4) 史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画についての、4 つの議題について審議いたしました。(1) 会長、副会長の選任では、会長は向田委員に、副会長には菅委員に就任していただきました。(2) 令和 4 年度文化財関連事業については事業実績

を報告し、（３）令和５年度文化財関連事業については、今年度の事業計画を報告しました。令和５年度事業概要として、普及啓発事業では、９月２日に行います下岡田官衙遺跡関連の歴史フォーラムや、ふちゅう大好きキッズ育成プロジェクト歴史部門、ふるさと再発見講座について説明しました。文化財保護関係施設では、旧歴史民俗資料館解体工事のスケジュールと、ギャラリーコーナーの企画展示について説明しました。（４）史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画については、保存活用計画検討委員会の開催と計画作成のスケジュールについて説明しました。各委員からは、保管している収蔵品と資料について、整理と活用方法を検討することや、現在は指定していない府中町の文化財指定について、今後は指定していくよう検討することなど、についてご意見をいただきました。続きまして、史跡下岡田官衙遺跡保存活用計画検討委員会を、令和５年７月６日木曜日に開催いたしました。会議では、昨年度に作成しました保存活用計画の前半部分の確認と、今年度に作成する計画の後半部分の説明を行い、計画（案）について検討をしていただきました。奈良文化財研究所所属の委員の方からは、計画の策定について、専門的な観点からご意見をいただきました。現在は、委員の皆様からいただいたご意見に基づき、計画（案）の修正を行っています。この計画は、前年度から２年で策定することとしておりますので、今年度が策定の年となります。今年度の会議は、３回開催する予定です。次の２回目の会議は９月に開催する予定で、今回の会議での修正点の確認等を行います。３回目の会議を１２月に開催し、計画書全体の最終確認を行います。

また、今回の会議では、オブザーバーとして参加していただく予定でした文化庁主任調査官の方が他の業務のため欠席となりましたが、下岡田官衙遺跡の現地確認をするため、７月２０日金曜日に府中町にられました。遺跡の現地確認をした後には、歴史民俗資料館の見学と、保存活用計画についてのご意見や、今後の遺跡の保存や整備についての方向性などについて、ご指導いただきました。報告は以上です。

教育長

報告は以上でございます。それでは、「学校教育関係」について、何かご質問等ございませんか。

（な し）

教育長

「社会教育関係」について、何かご質問等ございませんか。

（な し）

教育長

それでは、７月１３日木曜日と１４日金曜日の２日間、出雲市で開催されました第１４回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会に、神原委員が出席されましたので、ご報告をお願いします。

神原委員

７月１３日に研修大会に参加させていただきました、その報告をさせていただきます。今回、中国地方５県の教育委員関係者が１７５名集って開催されたこの研修大会なんですけども、コロナウイルスの影響によって対面での開催は４年ぶりということでした。島根県雲南市と岡山県津山市の教育長による実践発表があったので、特に印象に残った内容を発表させていただきます。まず雲南市の発表ですが、手元にある資料をご覧になっていただければと思いますが、全ての生徒がやってみたいスポーツ・文化活動に参加できる受け皿づくりを目指しているという演題で発表が行われました。雲南市は、この２０年で、人口が４万６千人から３万６千人と１万人も人口が減少しているような、過疎化している都市でありまして、この人口減少の対策というのが最優先課題とされているということでした。また、児童生徒も同じように人口減少の一途を辿っているという

ことでした。今回発表された市内7校の中学校における部活動の改善内容がテーマでした。中学校の児童生徒数が、大きいところと小さいところの差が非常に大きくて、最大校では273人いれば、最少校では4人と、地域に大きなバラつきがあって生徒児童が少ない中学校では、部活動の数が圧倒的に少ないというような課題があったと。生徒によっては、自分の学区の中学校に入りたい部活動がないために、入りたい部活がある大きな中学校に転校する事例が少なくなかったということから今回課題となった雲南市教育委員会において、休日の部活動を地域で行って、少ない学校を集めて、一緒に部活動を指導して行こうじゃないかということがテーマになっています。そこを中学校の部活動を地域で行うことを目的に、キラキラ雲南という第3セクターの企業に、休日の部活動の運営を委託するという事業を始められました。部活動は、昨年、最初に、運動部ではソフトボール、文化部では吹奏楽を年に8回実施され、吹奏楽では、少数学校4校の部活動の生徒のほとんどが参加されて、実施後のアンケートでは、軒並み「楽しかった」ということで、かなり好評だったということです。不安なことの要素として、最初は、やはり、他校の生徒とうまくやっていけるのかなといったような不安があったみたいですが、回を重ねるごとに解消されていったということです。ソフトボールのほうも同じように好評で、普段、少人数では、どうしてもできない練習が、人数が多ければ試合もできてよかったということも言われていました。ただ指導者、教職員の方の不安な問題点としては、普段、平日に自分が指導している内容と休日に委託された指導者の方が指導される内容との相違というか、そういったところがどうなのだろうか、生徒がそういったところに戸惑わないかという不安的な要素があるということと、保護者の送迎の問題ですとか、後は道具の問題ですね。学校同士のものをどういう貸し出しをするのかとかといったところで、どうしても保護者の協力とか、教職員の方が楽器を持っていくのに学校の鍵を開けないといけないとか、そういった今後、解消していく課題として見つかりましたという報告でした。今後、国が掲げていく部活動の地域移行ということで府中町にもすごく参考になるというふうに感じたところがありました。次に津山市の教育長による報告が、「自立し、心豊かにたくましい津山っ子を育てる」というテーマで発表されたんですけど、その中で特に印象に残ったところでは、津山市も同じように人口が少なくなっている地域であるんですけど、課題としてあげられたのが、生徒の学力が、全国平均より下回っているということが喫緊の課題であるということで、津山市として、どういう形で改善されていったのかというと、次の学期の初め、5月に、学び直し、学び重ね、という時間を設けて、例えば4年生で学んだことを5年生の最初の時期に、もう一度同じ内容をどこまで理解できているか、というところをやっていきましょう、といったところに取り組んでいかれて、少しずつ学力が向上していったところがあると言われていました。参考資料の10ページのところに、さらに個別の学力を向上するために個票という生徒自身のベンチマーク、いわゆる平均点に対して、生徒がどこが弱い、どこが強いのかというのをきちっとわかるように、年間6回、個票を先生がしっかりチェックして、どこでつまづいているのかということをしかりと生徒に対して表でわかるようにして、自分の得意なところ、苦手なところを改善していくような取組もされた、というふうなところで、先生も非常に大変だなということもあると思いますが、素晴らしい取組だというふうに感じました。あと印象に残った事は、最後のページ、21ページになるんですけど、教職員の働き方をとにかく変えていこうというのが非常に大きな印象に残ったところでした。徹底的にやるという意味で、夏休みの間、教頭先生、校長先生も「連続して10日間休みを取ろう」ということをとにかく取り組まないと教職員の先生はなかなか休みが取りづらい、ということも取り組まれておりました。あと印象に残ったのが学年担任制っていうのを導入していると。教職員になられる先生の数が非常に少なくなっているということで、その課題が何かというと、やはり保護者への対応ですとか、なかなか新任で若い先生がなかなか保護者対応というのが難しいところを、じゃあ学年で、先生みんなが対応していきましょうというところを取組の課題として実践されていったと、というところで、今では定着されていて先生同士が助け合いながらその学年を見守っていくということと、もう1つの側面として、以前、府中町の会議の中でもあったんですけど、

不登校になる生徒の要因として、30%位でしたかね、担任の先生と合わないというのが問題で、不登校になると、そういったことの解消にも、いろんな先生からの視点を見れることによって、不登校対策というところも生徒にとって非常に有効になっているんじゃないかという発表でした。もう1つ、教職員の方の生徒指導に対してのことだったんですけども、生徒に今後の生徒指導で、どういう職業が良いかということ指導する先生方っていうのは、やはり自分自身が教職員として、企業で働いた経験がない方が圧倒的に多いということで、夏休みを利用して、教職員の方が、地元の企業に1週間程度、実際に働きに体験に行かれるということを実践されて、津山市の企業の良さも先生がわかるし、自分が働いた内容を生徒に指導できることによって、より親身になった生徒指導ができるんじゃないか、進路指導ができるんじゃないかという取組をされているということが非常に印象に残った発表の内容でした。私からは発表以上になります。

教育長

ありがとうございました。続いて、委員の皆様から、ご意見などありましたらお願いします。

(なし)

教育長

無いようでございます。それでは、以上で、本日の議事日程をすべて終了いたしましたので、これをもって本日の会議を閉会いたします。

(閉会 午後1時44分)